

平成 25 年度 第 1 回 学校協議会報告

平成 25 年 6 月 3 日 (月) 14:00 ~ 16:00 於 : 本校会議室

- 1 委員 学校医・産業医、企業総務部長 (元地元) 大学名誉教授、近隣中学校長、地元自治会長、私立高等学校大阪学習センター長、PTA 会長
- 2 事務局 校長、事務部長、教頭、首席、進路指導主事、各グループ長、総務部長、書記 (3 名)
- 3 議 事 (1) 本年度、学校協議会委員及び事務局員の紹介と確認
(2) 学校教育活動の報告 (校長)
成城高等学校のコンセプト、成城高校が改善できつつある点、成城高校の課題、

4 おもな協議

(1) 協議会の前に行われた授業見学に関する感想と提言

- ・ 1 年生の授業を見学したが、緊張感があってしっかりと授業を受けていた。
- ・ 寝ている生徒が気になった。ただ、中には遅くまでアルバイトをして疲れている場合もあるのではないか？アルバイトの実態調査をし、場合によっては P T A と連携して考えてみてはどうか？
- ・ 空いている教室の電気が点いていたが、省エネ指導の徹底を。
- ・ 非常に落ち着いたよい雰囲気だった。また、学校がきれいで掃除が良く行き届いている。

(2) 1 年生 (9 期生) アンケートに関する提言

- ・ 一部質問がおかしい点がある。(悩んでいることのない生徒に対して、「悩みを相談できそうな先生がいますか」という質問の場合は、「わからない」という答えが多くなる)
- ・ 公立高校の 1 次入試を受検していない生徒が、何故、後期で成城高校を受検したかを調査すれば、成城高校に入学する生徒の傾向がわかると思う。アンケート調査することによって、成城高校に入学してくる生徒の色々な傾向や情報が見えてくる。
- ・ 9 期生は約 3 割が何らかの形で不登校を経験しているが、ほとんどの生徒が登校できている。

(3) 平成 25 年度 学校経営計画に関して

- ・ 取り組み計画の中で、発達障がい等のサポートの支援体制がすばらしい。特にピア・サポート体制がしっかりしていくよう期待している、中学では保健委員にピア・サポートの活動を行わせている。また、学級担任にピア・サポート体制の研修を行っており、新任教員には研修会への参加を促している。小・中学校では教育委員会が非常に力を入れて行っている。
- ・ 成城高校は、年々受検倍率が上がってきて生徒達も良くなってきている。しかし、学校が考えているように支援が必要な生徒を受け入れたい気持ちもわかるが、高倍率を突破した学力の高い生徒達のニーズも併せて考えて行かなければならない。
- ・ 大学での経験を紹介したい。工業系の高校からの工業推薦枠で大学に生徒を受け入れるにあたり、当初は、一般入試を受けて合格した生徒と比べて学力の差があるので、大学入学後授業について行けるか不安があった。しかし、推薦で入学した生徒を入学後に勉強会等でフォローした結果、専門教育が始まる頃には、クラスのリーダー的存在として力を発揮するようになった。また、推薦で入学した学生を大学で支援し就職に向けた指導の結果、4 年後希望する進路先に決定するようになった。

このように入学時の学力の差があっても、入学後に意識をもたせることで成功をもたらすことができ、大学として推薦枠を増やすことができた。成城高校も生徒の学力に差があっても、学校側の進め方と信念を持って教育することで、大きな成果をあげることができると思う。